

天狗石山から猿見石山へ

奥大井の山を歩く

2020年3月15日(日)

L: 磯部 N・服部文鳥・藤田 M・カワセミ・杉田・澤田・高山

寒波の間隙をぬって、奥大井の天狗石山から猿見石山への縦走を計画した。以前から一度は行きたいと思っていた奥大井湖上駅を起点とする日帰りコースだ。



千頭から県道 388 号を北上してみますが、湖上駅への下り道が細くてわかりにくい。接叟峡温泉から U ターンして、ようやく降り口を見つけ、駅まで最短の駐車場につく。7 台くらいは止められる。



P から駅へ向かう道



赤いレインボーブリッジ

接叟湖にかかる鉄橋を歩いて渡ると湖上駅がある。ダム湖の水は深いエメラルドグリーンで、まだ朝日も差さないのが暗い。



立派なコテージ

駅に隣接する立派なコテージにはトイレもあり、テーブルやイスもある。

ここから、天狗石山の登山道が始まる。ひんやりとした空気の中、鳥の声も聞

きながら、高度をあげていく。



整備されている登山道



珍しいオオカサゴケの群落

昨夜は雪が降ったらしく、足元にうっすらと雪が残っている。枝からも時間と共に融けた雪が落ちてくる。



樹間から白い朝日岳が覗く

植林帯がずっと続くが、時折右手に白い稜線が見える。朝日岳、沢口山あたりかと思う。



思わず歓声が・・・

高度を上げていくと次第に雪も増えてきた。青空と樹氷が、とてもきれいで気持ち良く歩ける。



頂上はもうすぐ



気分良く記念撮影

頂上は風も無く穏やかで、早めのお昼を済ませる。

このあと、猿見石山（大沢山）にむかって縦走開始。雪が予想以上に稜線にあったので下りでは、軽アイゼンやチェーンスパイクをつけるメンバーもいた。

約標高差 500m 近くを激下りするコースだ。



鉄塔から見る接岨湖

なかなか展望に恵まれないコースだがNHKの鉄塔からの眺めは最高だった。

下りきると今度はヤセ尾根の急登、しかも岩稜帯の連続、鉄の橋も三カ所、ロープもでてきて、面白いけど気が抜けない。一步間違えれば・・・の道が、結局猿見石山直下まで続いた。



何とすることも無い山頂

猿見石山からは下るだけなので、気が

楽になる。雪も減ってきた。

植林帯の中、足元の枯れ枝、倒木に気を配りつつ、ゆっくりおりて林道に出た。



地味な下山口

下山口から、奥泉駅まで車道を歩く。

駅近くの渡谷橋を渡るときに千頭へ向かう最終列車が見えた。のんびり、ゆったり、奥大井らしいかわいくも重量感のある列車だった。

奥泉駅に車を一台デポしていたので、湖上駅に車の回収にむかった仲間を待ち、帰路についた。

(磯部N記)

湖上駅コテージ(7:04)-天狗石山(10:06-10:45)-猿見石山(13:29)-下山口(15:27)-奥泉駅(15:50)